



BBS会 (Big Brothers and Sisters Movement)

BBS会とは、非行少年等さまざまな立場の少年に「兄」や「姉」のような立場で接し、一緒に悩み、一緒に学び、一緒に楽しむことを通じて、少年の立ち直りや自立を支援するとともに、非行防止活動を行う青年ボランティア団体です。全国に約450のBBS会があり、約4,500人の会員が活動しています。

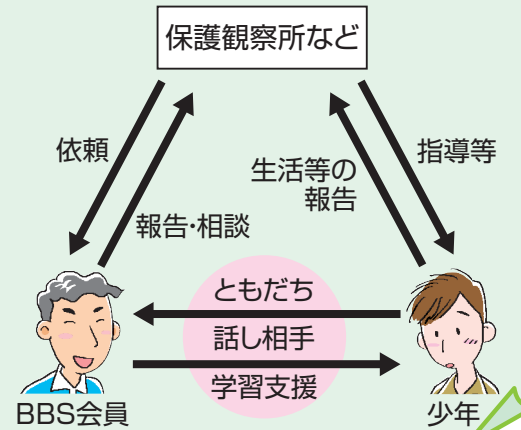
BBSのなりたち

戦後まもない混乱期、町にあふれる孤児に、若者の力で何かできないかと考えた青年たちがいました。その中の一人、京都の学生の投書が契機となって昭和22年「京都少年保護学生連盟」が生まれました。これが日本のBBS運動のスタートと言われています。以後、BBS運動は60年以上続いています。

このような活動をしています。

ともだち活動

兄や姉の立場から同じ目線に立って、非行少年たちの話し相手、相談相手となって、彼らの成長や悩みの解消を手助けしています。



社会参加活動・社会貢献活動(※)への協力

保護観察所と協力し、少年たちと共に社会奉仕活動などの様々な活動に参加しながら、社会や誰かの役に立つ喜びを分かち合っています。
(※)10頁参照

グループワーク

少年たちとグループになってスポーツやレクリエーションなど行います。共に何かを楽しむことにより、少年たちに一人ひとりのときとは違った共感や、心を開くきっかけを与えます。



非行防止活動

様々な広報活動や各種イベント、集会などを地域で実施し、犯罪や非行のない明るい社会の実現に努めています。

「ともだち活動 NちゃんとAちゃん」

現在、私は、二人の少女NちゃんとAちゃんのともだち活動を担当しています。

Nちゃんはとても明るく、活発で頑張り屋ですが、感情の起伏が激しく、好き嫌いがはっきりしていて態度に出してしまう所があります。主にメールや電話で話をしており、都合がつかるときは会って話しています。引受人の方は夕方から仕事に行かれ、また休みが固定していないためほとんどNちゃんと顔を合わせることはありません。そのため、Nちゃんはとても寂しいと訴え接触を求めてきます。慣れない土地での生活に精神的に限界がきているのか、眠れないこともありました。そんな時、Nちゃんが眠れるまで電話で話をしていたこともあります。

また、Aちゃんは、同世代の話し相手が欲しいとのことで、私が担当となりました。彼女ともメールや電話でのやりとりが多いですが、外で会うこともしばしばです。最初に会った時は金髪で化粧が濃かったAちゃんですが、次に会った時は黒髪で薄化粧になっていて驚きました。

私自身がBBS会に入会して五年ほどの月日が流れましたが、この間にもともだち活動を通して少女たちからたくさんのことを教わりました。かかわる一人ひとりとはみんな違って個性があり、長所もあれば短所もあります。保護観察になるようなことをしたのは事実ですが、だからこそ彼女たちと出会えたと思うと、感謝の気持ちがわきます。

私が二人の力になれることはほとんどありません。けれど、一人ではないことを伝え続け、「おせっかいだけど、なんか連絡してくれる人がいたなあ〜」と彼女たちの記憶に残れば嬉しいと思います。そして、彼女たちがいつ相談にきてでもドンと構えていられるような私になりたいと思っています。

日本更生保護協会『更生保護』平成22年8月号より

先輩会員から



東京成徳大学地区BBS会 湯浅秀太

私がBBSの会員になったきっかけは、大学で何か新しいことに挑戦したい、人の役にたてることがしたいという漠然としたものでした。そんなときにサークルという形でBBSを知り、迷わず入会しました。

今は、社会参加活動など、自分が参加できる範囲で積極的に参加しています。様々な人と交流する中で、自分の何気ない行動が相手に喜ばれたり、自分と違う考え方に触れることができたりすることはとても楽しく、嬉しい瞬間です。以前参加したある施設での餅つき大会のとき、活動を終えた参加者一人が私の方に来て「今日はありがとう」と握手をしてくれました。そういった思い出ひとつひとつが、私の活動を続ける理由、モチベーションの源です。

BBSなどの更生保護の世界は、なんとなく興味を持っていても、きっかけがなければ飛び込みにくいものだと思います。更生保護について学び、いざ活動をするとなると不安や緊張を感じるかもしれませんが、難しいことは考えず、肩の力を抜き、活動を楽しんでみてください。そして、自分が活動に参加しようと思ったその気持ちを大切にしてください。



社会参加活動の様子